

新岡山県環境基本計画(エコビジョン 2020)の 平成 30(2018)年度進捗状況について

岡山県環境基本条例に基づく、環境の保全に関する総合的な計画である新岡山県環境基本計画の平成 30(2018)年度進捗状況の概要は次のとおりである。

1 計画の概要

(1) 期 間 平成 20(2008)年度～令和 2(2020)年度

(2) 内 容

ア 計画の目指すべき姿(令和 2(2020)年度)

より良い環境に恵まれた持続可能な社会

イ 基本目標(※括弧内は主要施策・重点プログラムの合計)

①地域から取り組む地球環境の保全(31)

②循環型社会の形成(27)

③安全な生活環境の確保(31)

④自然と共生した社会の形成(20)

ウ 推進目標(※括弧内は重点プログラム数)

① 参加と協働による快適な環境の保全(25)

② 環境と経済が好循環する仕組みづくり(21)

2 平成 30(2018)年度進捗状況

主要施策・重点プログラム達成レベル(目標年次は令和 2(2020)年度)

区 分		達成レベル別 主要施策・重点プログラム数					平均
		1	2	3	4	5	
目 基 本	① 地域から取り組む地球環境の保全	0	5	23	3	0	2.94
	② 循環型社会の形成	0	4	17	6	0	3.07
	③ 安全な生活環境の確保	0	0	28	3	0	3.10
	④ 自然と共生した社会の形成	0	1	19	0	0	2.95
目 推 進	① 参加と協働による快適な環境の保全	0	3	20	1	1	3.00
	② 環境と経済が好循環する仕組みづくり	0	6	11	4	0	2.90
全体		0	19	118	17	1	3.00

※「達成レベル」：1 目標水準を大きく下回った 2 目標水準を下回った 3 概ね目標水準
4 目標水準を上回った 5 目標水準を大きく上回った

3 代表的な指標等の進捗状況

次頁のとおり

4 今後の進め方

- 岡山県環境審議会政策部会で専門的見地から助言をいただくとともに、消費者や事業者、市町村など様々な団体が参加する「エコパートナーシップおかやま」の活動に反映させていくなど、県民、事業者、市町村等と計画の目標、進捗状況、課題等を共有しながら、協働による計画の推進を図る。
- 進捗状況が伸び悩んでいるものについては取組方法等を検討するなど、その成果や課題を今後の計画の推進に反映させる。

代表的な指標等の進捗状況

基本目標① 地域から取り組む地球環境の保全

主要施策

地球温暖化対策

- 太陽光発電の導入促進
- 小水力発電の導入促進
- バイオマスエネルギーの利用拡大
- 新エネルギーの普及啓発等
- 建築物等の省エネルギー化の促進
- 産業・事業活動における省エネルギーと温室効果ガス排出抑制の推進
- 省エネルギー型ライフスタイル・ビジネススタイルの定着促進
- 省エネルギー住宅・省エネルギー型機器等の普及拡大

- 地産地消の推進
- 低公害車の導入促進
- 公共交通機関等の利用促進
- 交通円滑化の推進
- フロン類対策の推進
- 森林の保全
- 都市の緑化推進

酸性雨対策

- 硫酸化物・窒素酸化物の排出抑制

項目	策定時 (H25(2013))	現況 (H27(2015))	目標 (R2(2020))
製造品出荷額当たりのエネルギー消費量 (GJ/百万円)	83.7	83.3	83.2
業務その他部門の床面積当たりのエネルギー消費量(MJ/m ²)	795	770	763
1世帯当たりのエネルギー消費量 (GJ/世帯)	37.4	34.7	35.9
自動車1台当たりのエネルギー消費量 (GJ/台)	38.8	37.2	37.7

基本目標② 循環型社会の形成

主要施策

3Rの推進

- 循環型社会に向けたライフスタイルの変革
- 循環資源情報の提供
- 一般廃棄物の3Rの推進
- 産業廃棄物の発生抑制
- 循環資源の利活用推進
- 岡山エコタウンプランの推進

グリーン購入等の推進

- グリーン購入等の推進

廃棄物の適正処理の推進

- 産業廃棄物の適正処理の推進
- 一般廃棄物の適正処理の推進
- 不法投棄の根絶
- 広域的な移動に対する対応
- 災害廃棄物に対する備え

項目	策定時 (H17(2005))	現況 (H29(2017))	目標 (R2(2020))
一般廃棄物の排出抑制・資源化率(%)	90	96.3	96
産業廃棄物の排出抑制・資源化率(%)	93	95.5	96

基本目標③ 安全な生活環境の確保

主要施策	
大気環境の保全 ○環境に配慮した自動車運転等の推進 ○低公害車の導入促進《再掲》 ○公共交通機関等の利用促進《再掲》 ○交通円滑化の推進《再掲》 ○大気汚染防止対策の実施 ○悪臭被害の防止	騒音・振動の防止 ○道路交通騒音・振動、航空機騒音、新幹線鉄道騒音・振動対策 ○騒音・振動の規制
水環境の保全 ○生活排水対策 ○河川等の保全対策の推進 ○湖沼水質保全対策の推進 ○瀬戸内海の保全と再生 ○森林の保全《再掲》	土壌・地下水汚染対策 ○土壌・地下水汚染の防止 有害化学物質対策 ○有害化学物質による環境汚染の防止 ○アスベスト対策の推進 環境放射線の監視 ○環境放射線の監視 環境コミュニケーションの推進 ○環境コミュニケーションの推進

項 目	策 定 時 (H18(2006))	現 況	目 標 (R2(2020))
児島湖の水質(COD)(mg/L)	8.0	8.8 (H30(2018))	6.8
自動車保有台数に占める低公害車(※)の割合(%)	—	48.8 (H29(2017))	46

※天然ガス自動車・電気自動車・ハイブリッド自動車・メタノール自動車・燃料電池自動車
 ・低排出ガス認定かつ低燃費自動車を指す。

基本目標④ 自然と共生した社会の形成

主要施策	
豊かな自然環境の保護 ○自然公園等の保護 ○自然との調和に配慮した事業活動	水とみどりに恵まれた環境の保全とみどりの創出 ○水辺環境の保全と創出 ○森林の保全《再掲》 ○里地・里山の保全 ○身近なみどりの創出
野生生物の保護 ○希少野生動植物の保護 ○野生鳥獣の保護・管理 ○移入種等の対策	自然との共生おかやま戦略の推進 ○自然との共生おかやま戦略の推進
自然とのふれあいの推進 ○自然環境学習等の推進 ○自然とのふれあいの場の確保	

項 目	策 定 時	現 況	目 標 (R2(2020))
希少野生動植物(条例指定等)の保護に取り組む地域数(地域)	4 (H18(2006))	11 (H30(2018))	12
自然公園利用者数(万人)	1,234 (H17(2005))	1,143 (H29(2017))	1,450

推進目標① 参加と協働による快適な環境の保全

主要施策

協働による環境保全活動の促進

- 環境保全団体等との協働
- 県民総参加による取組の推進

景観の保全と創造

- 県土岡山の景観形成の推進

環境学習の充実

- 実践につながる環境学習の推進
- 協働で取り組む体制の充実
- 学校教育における環境教育の推進

項 目	策 定 時 (H27(2015))	現 況 (H30(2018))	目 標 (R2(2020))
環境学習出前講座の協働実施回数(回)	324	361	300以上
環境学習エコツアー参加者数(人、累計)	43,499	53,519	60,000
景観行政団体の数(市町村)	8	8	10

推進目標② 環境と経済が好循環する仕組みづくり

主要施策

グリーン成長の推進

- 新エネルギーの推進
- 環境等関連分野の産業の振興
- 環境と好循環した農林水産業の振興
- グリーン購入等の推進《再掲》
- 省エネルギー住宅・省エネルギー型機器等の普及拡大《再掲》

環境に配慮した事業者の育成・拡大

- 環境マネジメントシステムの普及拡大
- CSR(企業の社会的責任)活動の普及
- 環境保全のための費用負担意識の普及

環境影響評価の推進

- 環境影響評価の適正な実施

項 目	策 定 時 (H27(2015))	現 況 (H30(2018))	目 標 (R2(2020))
循環型産業クラスターで開発された製品の数(件、累計)	12	19	17
岡山県エコ製品の認定品目数(品目、累計)	350	381	352
岡山エコ事業所の認定件数(件、累計)	264	254	285
エコアクション21認証・登録事業者の数(事業者、累計)	79	112	200

平成30(2018)年度 主要施策(重点プログラム)達成レベル一覧

基本目標①		地域から取り組む地球環境の保全		
主要施策		重点プログラム (※は努力目標についての指標があるもの)		達成レベル
地球温暖化対策	新エネルギーの導入促進	太陽光発電の導入促進	太陽光発電の導入促進※	2
			野菜・花き栽培など農業分野での新エネルギーの利用拡大※	2
		小水力発電の導入促進	小水力発電の導入促進※	2
		バイオマスエネルギーの利用拡大	木質バイオマスのエネルギー利用推進	3
		新エネルギーの普及啓発等	水素社会の実現に向けた可能性の研究と理解の促進※	3
			県民参加による発電施設設置の普及拡大※	2
			新エネルギー産業クラスターの形成	3
	地域ぐるみで進めるスマートコミュニティの推進※		3	
	省エネルギーの推進	建築物等の省エネルギー化の促進	民間建築物等の省エネルギー化の推進	3
			県有施設の省エネルギー化の推進※	4
			信号灯器のLED化※	3
			壁面緑化等の普及促進	3
		産業・事業活動における省エネルギーと温室効果ガス排出抑制の推進	温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度による排出抑制※	3
			総合特区制度を利用した高効率・省資源型コンビナートの実現	3
		省エネルギー型ライフスタイル・ビジネススタイルの定着促進	アースキーパーメンバーシップ会員の拡大※	2
			COOL CHOICE(賢い選択)の推進	3
			エコドライブの推進※	3
		省エネルギー住宅・省エネルギー型機器等の普及拡大	省エネルギー住宅の普及拡大	3
			省エネルギー型機器等の普及拡大※	3
		地産地消の推進		3
		低公害車の導入促進	県公用車への低公害車の率先導入	3
			電気自動車等(EV・PHV・FCV)の普及促進※	4
		公共交通機関等の利用促進	自動車の利用抑制	3
			バス・電車等の利用促進	3
		交通円滑化の推進	道路整備等の推進	3
			新交通管理システムの整備※	4
		類フロン対策	フロン類対策の推進	フロン類の排出抑制の推進
	吸収源対策	森林の保全	公益的機能を高めるための森づくりの推進	3
			県民が育て楽しむ森づくりの推進	3
		都市の緑化推進		3
	酸性雨対策	硫黄酸化物・窒素酸化物の排出抑制		3

平成30(2018)年度 主要施策(重点プログラム)達成レベル一覧

基本目標②		循環型社会の形成		
主要施策		重点プログラム (※は努力目標についての指標があるもの)		達成レベル
3Rの推進	循環意識型社会の改革に向け	循環型社会に向けたライフスタイルの変革	「おかやま・もったいない運動」の推進	3
			マイバッグ運動の推進	3
			食品ロス削減の促進	4
		循環資源情報の提供	循環資源マッチングシステムの利用促進	3
	一般廃棄物の3R※	一般廃棄物の3Rの推進	循環型社会づくりに向けた処理システムの構築	3
			ごみの分別収集の徹底	3
			家電リサイクルの推進	4
			リサイクル関連法の周知・徹底	4
	産業廃棄物の3R※	産業廃棄物の発生抑制	排出業者に対する指導・助言	3
			ごみゼロガイドラインの推進	2
		循環資源の利活用推進	3Rに関する広域ネットワークの形成	3
			リサイクル関連法の周知・徹底	3
	岡山エコタウンの推進	岡山エコタウンプランの推進	循環型社会形成推進モデル事業の推進	3
			岡山エコタウンを生かした環境学習の推進	2
グリーン購入の推進	グリーン購入等の推進	「岡山県グリーン調達ガイドライン」に基づく取組の推進	3	
		「岡山県エコ製品」の認定・周知	4	
		「岡山エコ事業所」の認定・周知	2	
廃棄物の適正処理の推進	産業廃棄物の適正処理の推進	処理業者等に対する監視・指導	4	
		PCB廃棄物の計画的な処理の推進	3	
		農業用廃プラスチックの適正処理の推進※	2	
	一般廃棄物の適正処理の推進	廃棄物処理施設の計画的な整備の促進	3	
	不法投棄の根絶	不法投棄等の不適正処理対策	3	
		海ごみ対策の推進	3	
		地域の環境美化運動の促進	3	
	広域的な移動に対する対応		3	
災害廃棄物に対する備え	円滑な処理体制づくり※	3		

平成30(2018)年度 主要施策(重点プログラム)達成レベル一覧

基本目標③		安全な生活環境の確保	
主要施策		重点プログラム (※は努力目標についての指標があるもの。網掛けは再掲。)	達成レベル
大気環境の保全	環境に配慮した自動車運転等の推進	エコドライブの推進※	3
	低公害車の導入促進	県公用車への低公害車の率先導入	3
		電気自動車等(EV・PHV・FCV)の普及促進※	4
	公共交通機関等の利用促進	自動車の利用抑制	3
		バス・電車等の利用促進	3
	交通円滑化の推進	道路整備等の推進※	3
		新交通管理システムの整備	4
	大気汚染防止対策の実施	工場・事業場の監視・指導※	3
		大気汚染防止夏期対策の実施※	3
		微小粒子状物質(PM2.5)対策の推進※	4
ディーゼル自動車粒子状物質削減対策の推進※		3	
悪臭被害の防止		3	
水環境の保全	生活排水対策	生活排水対策の推進※	3
	河川等の保全対策の推進	工場・事業場対策の推進※	3
		環境に配慮した水辺づくり※	3
	湖沼水質保全対策の推進	児島湖再生の推進※	3
		児島湖流域下水道事業の推進	3
	瀬戸内海の保全と再生	沿岸域の環境の保全、再生及び創出※	3
		水質の保全及び管理※	3
		瀬戸内海の自然景観及び文化的景観の保全	3
		水産資源の持続的な利用の確保	3
	森林の保全	公益的機能を高めるための森づくりの推進※	3
県民が育て楽しむ森づくりの推進		3	
騒音防・止振動	道路交通騒音・振動、航空機騒音、新幹線鉄道騒音・振動対策	3	
	騒音・振動の規制	騒音に係る環境基準のあてはめ地域の拡大等	3
染水地壤策対汚下・土	土壌・地下水汚染の防止	工場・事業場対策の推進	3
有害物質対策	有害化学物質による環境汚染の防止	有害大気汚染物質対策の推進	3
		有害化学物質対策の推進	3
	アスベスト対策の推進	アスベスト対策の推進	3
監線放環境視の射境	環境放射線の監視		3
のシケミ環推ヨー境進ニコ	環境コミュニケーションの推進	事業者による環境コミュニケーションの推進※	3

平成30(2018)年度 主要施策(重点プログラム)達成レベル一覧

基本目標④		自然と共生した社会の形成	
主要施策		重点プログラム (※は努力目標についての指標があるもの。網掛けは再掲。)	達成レベル
豊かな自然環境の自	自然公園等の保護	自然公園等の適切な利用指導※	3
	自然との調和に配慮した事業活動	自然と調和した開発の指導	3
野生生物の保護	希少野生動植物の保護	レッドデータブックの充実と活用	3
		希少野生動植物の保護※	3
	野生鳥獣の保護・管理	鳥獣保護対策の推進	3
		特定鳥獣保護・管理対策の推進	3
		狩猟者の確保	3
	移入種等の対策	移入種等に関する普及啓発等の推進	3
自然とのふれあいの推進	自然環境学習等の推進	自然環境学習等の推進※	3
	自然とのふれあいの場の確保	自然とふれあえる体験の場や機会の充実※	3
		ニューツーリズムの推進	3
水とみどりに恵まれた環境の保全と身近なみどりの創出	水辺環境の保全と創出		3
	森林の保全	公益的機能を高めるための森づくりの推進※	3
		県民が育て楽しむ森づくりの推進※	3
	里地・里山の保全	農地・農業用水等の保全	3
		都市と農村との交流推進	3
		環境保全型農業の推進	3
	身近なみどりの創出	都市と近郊のみどりの創出	3
		緑化推進体制の充実※	2
自然との共生おかやま戦略の推進	自然との共生おかやま戦略の推進	自然との共生に関する活動の促進	3

平成30(2018)年度 主要施策(重点プログラム)達成レベル一覧

推進目標①		参加と協働による快適な環境の保全		
主要施策		重点プログラム (※は努力目標についての指標があるもの。網掛けは再掲。)	達成レベル	
協働による環境保全活動の促進	環境保全団体等との協働	環境パートナーシップの形成促進	3	
		ソーシャルビジネスの育成支援	2	
		都市と農村との交流推進	3	
		アダプト事業の推進	3	
		イベント等のエコ化の推進	3	
	県民総参加による取組の推進	アースキーパーメンバーシップ会員の拡大	2	
		COOL CHOICE(賢い選択)の推進	3	
		エコドライブの推進	3	
		県民参加による発電施設設置の普及拡大	2	
		「おかやま・もったいない運動」の推進	3	
		マイバッグ運動の推進	3	
		地域の環境美化運動の促進	3	
		快適な生活環境の保全	3	
		環境技術のアジア協力	3	
	環境学習の充実	実践につながる環境学習の推進	実践的な環境学習の機会の提供※	5
			移動環境学習車の活用	3
			環境学習エコツアーの実施※	4
			子どもたちの環境活動への支援	3
スーパーエンパイロメントハイスクールの指定			3	
協働で取り組む体制の充実		環境学習協働推進広場の活動推進	3	
		環境学習指導者の育成・活用	3	
学校教育における環境教育の推進		教職員に対する環境研修の実施	3	
景観の創造の保全と		県土岡山の景観形成の推進	景観行政団体となる市町村の拡大と連携強化※	3
	瀬戸内海の自然景観及び文化的景観の保全		3	
	電線類地中化の推進		3	

平成30(2018)年度 主要施策(重点プログラム)達成レベル一覧

推進目標②		環境と経済が好循環する仕組みづくり	
主要施策		重点プログラム (※は努力目標についての指標があるもの。網掛けは再掲。)	達成レベル
グリーン成長の推進	新エネルギーの推進	太陽光発電の導入促進	2
		小水力発電の導入促進	2
		木質バイオマスのエネルギー利用推進	3
		電気自動車等(EV・PHV・FCV)の普及と技術開発	4
		中小企業の新エネルギー設備導入の支援	2
	環境等関連分野の産業の振興	循環型産業クラスターの形成※	4
		新エネルギー産業クラスターの形成	3
		木質バイオマスの活用推進	4
		循環型社会形成推進モデル事業の推進	3
		3Rに関する広域ネットワークの形成	3
	環境と好循環した農林水産業の振興	環境保全型農業の推進	3
		魅力ある林業の実現	3
	グリーン購入等の推進	「岡山県グリーン調達ガイドライン」に基づく取組の推進	3
		「岡山県エコ製品」の認定・周知※	4
		「岡山エコ事業所」の認定・周知※	2
	省エネルギー住宅・省エネルギー型機器等の普及拡大	省エネルギー住宅の普及拡大	3
省エネルギー型機器等の普及拡大		3	
た環境・業に配慮し	環境マネジメントシステムの普及拡大	環境マネジメントシステムの普及拡大※	2
	CSR(企業の社会的責任)活動の普及	中小企業の環境対策の促進	2
	環境保全のための費用負担意識の普及		3
の環境影響評価	環境影響評価の適正な実施		3

平成30(2018)年度 数値目標達成状況一覧

基本目標①	地域から取り組む地球環境の保全
--------------	------------------------

代表的な指標	項 目	策定時 (H25(2013))	現況 (H27(2015))	努力目標 (R2(2020))
		製造品出荷額当たりのエネルギー消費量 (GJ/百万円)	83.7	83.3
	CO ₂ 換算 kg-CO ₂ /百万円	4,210	4,077	4,185
	業務その他部門の床面積当たりのエネルギー消費量(MJ/m ²)	795	770	763
	CO ₂ 換算 kg-CO ₂ /m ²	118.2	114.6	113.4
	1世帯当たりのエネルギー消費量(GJ/世帯)	37.4	34.7	35.9
	CO ₂ 換算 kg-CO ₂ /世帯	5,262	5,001	5,051
	自家用車1台当たりのエネルギー消費量(GJ/台)	38.8	37.2	37.7
	CO ₂ 換算 kg-CO ₂ /台	2,652	2,541	2,578

重点プログラム		項 目	策定時 (H27(2015))	現況 (H30(2018))	努力目標 (R2(2020))	
地球温暖化対策	新エネルギーの導入促進	太陽光発電の導入促進	817 (222)	1,249 (263)	3,500 (400)	
		野菜・花き栽培など農業分野での新エネルギーの利用拡大	103	102	115	
		小水力発電の導入促進	12	16	40	
		水素社会の実現に向けた可能性の研究と理解の促進	2,027	2,701	3,500	
		県民参加による発電施設設置の普及拡大	31	36	80	
		地域ぐるみで進めるスマートコミュニティの推進	3	7	10	
	省エネルギーの推進	県有施設の省エネルギー化の推進	県の事務事業から生じる温室効果ガス排出量(t-CO ₂) ※クールエコ・オフィス・プラン(H29(2017).3策定)における指標とあわせるため、H27(2015)の排出係数を使用して再計算した。	78,378 ※	66,403	75,243 ※
		信号灯器のLED化	信号灯器のLED化率(%)	53	63	65
		温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度による排出抑制	製造品出荷額当たりのエネルギー消費量(GJ/百万円)	83.7 (H25(2013))	83.3 (H27(2015))	83.2
			業務その他部門の床面積当たりのエネルギー消費量(MJ/m ²)	795 (H25(2013))	770 (H27(2015))	763
		アースキーパーメンバーシップ会員の拡大	アースキーパーメンバーシップ会員数(人・事業所、累計)	11,485	12,394	14,000
		エコドライブの推進	自動車1台当たりのエネルギー消費量(GJ/台)	38.8 (H25(2013))	37.2 (H27(2015))	37.7
			エコドライブ宣言登録者数(人、累計)	21,393	25,522	29,000
		省エネルギー型機器等の普及拡大	1世帯当たりのエネルギー消費量(GJ/世帯)	37.4 (H25(2013))	34.7 (H27(2015))	35.9
		電気自動車(EV・PHV・FCV)の普及促進	電気自動車等の普及台数(台、累計)	2,945	4,438 (H29(2017))	6,000
新交通管理システムの整備	信号機の高性能化整備数(基、累計)	393	479	500		
	高度化光ビーコン整備数(基、累計)	256	498	500		

平成30(2018)年度 数値目標達成状況一覧

基本目標②		循環型社会の形成				
代表的な指標		項目	策定時 (H17(2005))	現況 (H29(2017))	努力目標 (R2(2020))	
		一般廃棄物の排出抑制・資源化率(%)	90	96.3	96	
		産業廃棄物の排出抑制・資源化率(%)	93	95.5	96	
重点プログラム		項目	策定時 (H27(2015))	現況 (H30(2018))	努力目標 (R2(2020))	
3Rの推進	一般廃棄物の3R	一人当たりごみの排出量(g/人・日) ※ごみの排出量 ＝収集ごみ量＋直接搬入量＋集団回収量	1,000 (H26(2014))	993 (H29(2017))	935	
		一般廃棄物のリサイクル率(%)	29.5 (H26(2014))	29.6 (H29(2017))	32.7	
		一般廃棄物の最終処分量(t/日)	101 (H26(2014))	80 (H29(2017))	86.5	
		家庭系ごみの排出量(g/人・日)	522 (H26(2014))	505 (H29(2017))	500	
		使用済小型家電回収市町村数(市町村)	17	27	22	
	産業廃棄物の3R	産業廃棄物の排出量(千t/年)	5,525 (H26(2014))	5,645 (H29(2017))	5,649	
		産業廃棄物のリサイクル率(%)	43.4 (H26(2014))	44.5 (H29(2017))	45.4	
		産業廃棄物の最終処分量(千t/年)	318 (H26(2014))	312 (H29(2017))	303	
	廃棄物の適正処理の推進	産業廃棄物の適正処理の推進	農業用プラスチックの適正処理の推進	農業用使用済プラスチックの再生処理(%)	32.6	5.8
災害廃棄物の処理の備え		円滑な処理体制づくり	災害廃棄物処理計画策定市町村数(市町村数)	5	8 (H29(2017))	19

平成30(2018)年度 数値目標達成状況一覧

基本目標③		安全な生活環境の確保				
代表的な指標		項目	策定時 (H18(2006))	現況 (H30(2018))	努力目標 (R2(2020))	
		児島湖の水質(COD)(mg/L)	8.0	8.8	6.8	
		自動車保有台数に占める低公害車の割合(%)	—	48.8 (H29(2017))	46	
重点プログラム		項目	策定時 (H27(2015))	現況 (H30(2018))	努力目標 (R2(2020))	
大気環境の保全	等動慮環 の車し境 推運たに 進転自配	エコドライブの推進	エコドライブ宣言登録者数(人、累計)	21,393	25,522	29,000
			自動車1台当たりのエネルギー消費量(GJ/台)	38.8 (H25(2013))	37.2 (H27(2015))	37.7
	滑交化通 の進 の円	道路整備等の推進	主要渋滞箇所数(箇所)	68	55	55
		大気汚染 防止対策の 実	工場・事業場の監視・指導	工場・事業場の排ガス等基準適合率(%)	98	98
	大気汚染防止夏期対策の実施		オキシダント情報等メール配信登録者数(人、累計)	12,788	14,769	18,000
	微小粒子状物質(PM2.5)対策の推進		PM2.5環境基準達成率(%)	5.3	38.1	30.0
			PM2.5注意喚起メール配信登録者数(人、累計)	15,638	38,472	40,000
ディーゼル自動車粒子状物質削減対策の推進	ディーゼル自動車粒子状物質対策済率(%)	64.8	64.9 (H29(2017))	85.0		
水環境の保全	生活排水対策	生活排水対策の推進	単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換数(基)	112	215 (H29(2017))	340
			汚水処理人口普及率(%)	84.4	87.0	88.8
	河川等の保全	工場・事業場対策の推進	工場・事業場の排水基準適合率(%)	96	97	98
			環境に配慮した水辺づくり	ホテルの生息地箇所数(箇所、累計)	305	335
		ふるさとの川リフレッシュ事業を実施した箇所数(箇所、累計)		30	190	150
	湖沼水質保全対策	児島湖再生の推進	水質目標値(COD:mg/L)	7.2	8.8	6.8
			合併処理浄化槽の設置基数(基)	5,127	1,629 (H29(2017))	5,360
			浄化用水の導入量(万m ³ /日)	60.0	61	60.0
			ヨシ原の管理面積(千m ²)	184	101.4	150
	瀬戸内海の保全と再生	沿岸域の環境の保全、再生及び創出	里海の整備箇所数(箇所、累計)	3	3	4
			環境学習の場としての活用自然海岸数(箇所)	1	5	5
		水質の保全及び管理	汚濁負荷の削減目標量(t/日)			
				(H26(2014))	(H29(2017))	(R1(2019))
COD			34	32.9	32	
窒素	37	36.9	37			
りん	2.0	1.92	1.9			
森林の保全	公益的機能を高めるための森づくりの推進	保安林面積(ha)	148,715	149,044 (H29(2017))	152,600	
環境推進の二	環境推進の二	事業者による環境コミュニケーションの推進	事業者による環境コミュニケーションの取組率(%)	24.2	23.2	25.0

平成30(2018)年度 数値目標達成状況一覧

基本目標④			自然と共生した社会の形成			
代表的な指標			項目	策定時 (H18(2006))	現況 (H30(2018))	努力目標 (R2(2020))
			希少野生動植物(条例指定等)の保護に取り組む地域数(地域)	4	11	12
			自然公園利用者数(万人)	1,234 (H17(2005))	1,143 (H29(2017))	1,450
重点プログラム			項目	策定時 (H27(2015))	現況 (H30(2018))	努力目標 (R2(2020))
豊かな自然環境の保護	自然公園等の保護	自然公園等の適切な利用指導	自然保護推進員数(人)	78	82	100
		希少野生動植物の保護	希少野生動植物(条例指定等)の保護に取り組む地域数(地域)	11	11	12
自然とのふれあいの推進	自然環境学習等の推進	自然保護センターの利用者数(人)	25,347	31,154	40,000	
	自然とのふれあいの場の確保	長距離自然歩道の利用者数(万人)	161	155 (H29(2017))	190	
		身近な自然体験プログラムの参加者数(人)	18,941	32,858	30,000	
水とみどりに恵まれた環境の保全	森林の保全	公益的機能を高めるための森づくりの推進	少花粉スギ・ヒノキ苗木による植替えの割合(%)	0.2	93.6	90以上
		県民が育て楽しむ森づくりの推進	森づくり活動への参加企業数(企業、累計)	20	23	30 (R1(2019))
	身近なみどりの創出	緑化推進体制の充実	緑の募金総額(万円)	1,876	1,344	1,900

平成30(2018)年度 数値目標達成状況一覧

推進目標①	参加と協働による快適な環境の保全
--------------	-------------------------

重点プログラム			項目	策定時 (H27(2015))	現況 (H30(2018))	努力目標 (R2(2020))
環境学習の充実	実践環境学習につながる推進	実践的な環境学習の機会の提供	環境学習出前講座の協働実施回数(回)	324	361	300以上
		環境学習エコツアーの実施	環境学習エコツアー参加者数(人、累計)	43,499	53,519	60,000
景観創造の保全と	県形成岡山の推進	景観行政団体となる市町村の拡大と連携強化	景観行政団体の数(市町村)	8	8	10

推進目標②	環境と経済が好循環する仕組みづくり
--------------	--------------------------

重点プログラム			項目	策定時 (H27(2015))	現況 (H30(2018))	努力目標 (R2(2020))
グリーン成長の推進	環境等関連分野の振興	循環型産業クラスターの形成	循環型産業クラスターで開発された製品の数(件、累計)	12	19	17
		「岡山県エコ製品」の認定・周知	岡山県エコ製品の認定品目数(品目、累計)	350	381	352
		「岡山エコ事業所」の認定・周知	岡山エコ事業所の認定件数(件、累計)	264	254	285
環境に配慮した事業の育成・拡大	環境マネジメントシステムの普及拡大	環境マネジメントシステムの普及拡大	エコアクション21認証・登録事業者の数(事業者、累計)	79	112	200